

— 佐中の教育グランドデザイン — 令和7年度 佐和田中学校はこのような教育を展開します！

教育目標 自主積極・和親協力

重点目標： **さ**わやかな生徒 **わ**かるまで学ぶ生徒 **た**くましく鍛える生徒

重点教育課題

- 生きて働く知識・技能の習得、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成、学びを学習や生活に生かす態度・能力の育成を図る。
- よりよい人間関係づくりと自治意識の高揚を目指し、学級活動や生徒会活動を活発にする。
- 心身の健康を目指し、食育・健康教育の充実を図る。

社会・国からの要請、学習指導要領等

〈県の小・中学校教育の重点事項〉

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現
- いじめをしない、許さない、命を大切にする意識の醸成

〈佐渡市教育大綱の基本方針〉

- 佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進
- 誰もが、いつでも、どこでも学べる生涯学習の推進
- 家庭・地域がそれぞれの役割を適切に果たす家庭教育・地域教育の充実

〈学校教育支援事業〉

- 「じっくり学習し、豊かにかかわる学習活動」の展開
- 生き方にかかわる人生講話、職業講話、体験学習の充実

地域との連携・協力

- PTA、ボランティアネットワーク等との連携
- 部活動の外部指導者の支援体制
- 佐和田地区小中連携協議会における「中1ギャップ解消プログラム」の推進
- ハローワーク、地域の経営者や、商工会との連携による「キャリア教育プログラム」の推進
- 学校運営協議会の実施

地域の特性

- 佐渡のほぼ中央に位置し、商業、交通の中心地
- アパートや大型店の進出が激しく人の交流が多い地域
- トライアスロン大会や伝統工芸、芸能等、新旧の文化が根付いた地域

生徒の実態

- 素直で実直な生徒が多く、諸活動に熱心に取り組む。
- 自主的、自治的に取り組もうとする姿勢が見られる。
- 共に高め合い、向上しようとする気持ちが見られる。

地域の願い

- 望ましい生活習慣の定着
- 認め合い、支え合う人間関係

保護者の願い

- 基本的な生活習慣の定着と道徳性の向上
- 学力の向上
- 自主性や責任感の育成

生徒の願い

- 安心して学べる場
 - ・学力の向上
 - ・豊かな人間関係
 - ・自治意識の向上

- 地域の人材活用
- 開かれた学校

学習指導

○「教えること」「考えさせること」を明確にし、主体的・対話的で深い学びを目指します。

〈生徒には〉※教育活動

- ・学習意欲を高めながら基礎的・基本的な学習内容が定着するようにするとともに、身に付けた知識や技能を様々な学習や生活の場面で活用できるようにします。

〈教職員は〉※運営活動

- ・「教えること」を確実に教え「考えさせる」ための発問を工夫し、学ぶ意欲を高める学習過程を工夫します。
- ・他者との対話等を通じて自己の考えを広げ深めたり、収集した情報を精査して考えたり、知識を関連付けてより深く理解したりする学習過程を取り入れます。

〈成果として〉※成果

- ・教研式標準学力検査で前年度の値を+1以上上回るようにします。
- ・学習についての意識調査で、学習意欲の向上が見られるようにします。
- ・授業と接続した「家庭学習」の充実を図り、家庭学習時間が前年度を上回るようにします。

特別活動

○学級学年活動や生徒会活動、学校行事等を活性化し、自治意識の高揚に努めます。

〈生徒には〉

- ・話し合い活動を通して、自分たちの生活に関する問題点に気づき、その解決のために考え、行動できるようにします。
- ・自ら企画したボランティア活動に積極的に取り組むようにします。

〈教職員は〉

- ・学年、学級経営を充実し、確かな居場所づくりと温もりのある人間関係づくりに努めます。
- ・生徒との語らいや活動を共にする中で人間的触れ合いを深め、よりよい生き方への自覚を促します。
- ・生徒の発想や創意を大切に、成就感や所属感を感じ得る指導法を工夫します。(自己肯定感の向上)

〈成果として〉

- ・学校生活についての意識調査で、課題意識と満足度、話し合い活動に関する意識の向上が見られるようにします。
- ・ボランティア活動への参加意欲を高め、参加人数を増やします。

心身の健康

○豊かな心と体力向上を目指した環境整備に努めます。

〈生徒には〉

- ・JRC精神を基調とし、他を思いやる心や認め合う心、喜びを共有できる心などの豊かな心が育つようにします。
- ・保健体育や部活動、食育を通して、体力の向上や健康の保持増進のための実践力を育成します。

〈教職員は〉

- ・特別な教科道徳の授業を充実し、確かな居場所づくりと温もりのある人間関係づくりに努めます。
- ・健康三原則について、生徒や家庭に働きかけます。

〈成果として〉

- ・いじめのない学校と不登校生徒の減少を目指します。
- ・学校生活についての意識調査で、安定した人間関係や楽しい学校生活、思いやりの心に関する数値の向上が見られるようにします。
- ・体力テストの結果が前年度を上回るとともに、健康保持・増進の意識が高まり行動できるようにします。

「キャリア教育」の充実（総合学習・学級活動を核として）

- 「キャリア教育プログラム」による生き方指導としての進路指導を充実し、社会的自立力の育成に努めます。
- 自ら課題を設定し、他者と関わりながら積極的に解決を図りつつ、新しい自分を創造する生徒を育成します。

情報教育 進路指導 特別支援教育 人権教育、同和教育
国際理解教育 環境教育 体育・健康に関する指導

「生徒指導の充実」を柱とした学校づくりに努めます。(学級づくりと生徒会活動を基盤として)

- ～基本的生活習慣の確立と三つの喜びを感じ得る積極的な生徒指導を推進します。～
 - 互いに分かり合えた喜び(共感的人間関係) ○自分〔自分たち〕で考え、やり遂げた喜び(自己決定の場)
 - 人のために役立って認められた喜び(自己有用感)

～教育相談や生徒との触れ合いの場を大切に、一人一人の生徒理解に努めます。～

小・中連携による「中1ギャップ解消プログラム」の推進

